

II 特別支援教育の現状と課題

【全国的な課題】

<p>特別支援教育の対象児童生徒数の増大</p> <p>〈平成14年度 ⇒ 平成23年度〉</p> <p>特別支援学校在籍者：約34%増</p> <p>特別支援学級在籍者：約90%増</p> <p>通級指導対象者：約106%増</p>	<p>幼稚園・小・中学校・高等学校における 校内支援体制の整備</p> <p>発達障害を含む障害のある児童生徒一人一人に応じた きめ細やかな支援のための校内体制の整備・充実</p>	<p>インクルーシブ教育システム構築のための 特別支援教育の推進</p> <p>障害のある子どもと障害のない子どもが、 できるだけ同じ場で共に学ぶことへの対応</p>
---	--	---

【愛知県における主な課題】

特 別 支 援 学 校	幼 稚 園 ・ 小 ・ 中 学 校 ・ 高 等 学 校																																	
<p>《学校規模の過大化（教室不足）の解消》</p> <ul style="list-style-type: none"> 県立知的障害養護学校の過大化による教室不足 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>児童生徒数(H24)</td> <td>～299</td> <td>300～399</td> <td>400～499</td> <td>500～</td> </tr> <tr> <td>学 校 数</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>1</td> </tr> </table> <p>※児童生徒数400人以上の学校数：全国で11校のうち本県6校</p> <p>《長時間通学の解消》</p> <ul style="list-style-type: none"> 長時間通学による児童生徒への負担 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">スクールバス利用者乗車時間別人数(H24)</th> </tr> <tr> <th>1時間以内</th> <th>1時間超</th> </tr> <tr> <td>肢体不自由養護学校</td> <td>285 (61.2%)</td> <td>181 (38.8%)</td> </tr> <tr> <td>知的障害養護学校等</td> <td>1,842 (81.8%)</td> <td>410 (18.2%)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,127 (78.3%)</td> <td>591 (21.7%)</td> </tr> </table> <p>《就労支援》</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般就労（企業等）…就職率（従来40%以上）の低下傾向、就労先の開拓 福祉就労（障害者支援施設等）…就労先の開拓 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>区 分</th> <th>一般就労率</th> <th>福祉就労率</th> </tr> <tr> <td>愛知県立(H23)</td> <td>37.4%</td> <td>54.2%</td> </tr> <tr> <td>全国平均(H22)</td> <td>24.3%</td> <td>62.8%</td> </tr> </table>	児童生徒数(H24)	～299	300～399	400～499	500～	学 校 数	1	1	5	1	区 分	スクールバス利用者乗車時間別人数(H24)		1時間以内	1時間超	肢体不自由養護学校	285 (61.2%)	181 (38.8%)	知的障害養護学校等	1,842 (81.8%)	410 (18.2%)	計	2,127 (78.3%)	591 (21.7%)	区 分	一般就労率	福祉就労率	愛知県立(H23)	37.4%	54.2%	全国平均(H22)	24.3%	62.8%	<p>《発達障害等のある幼児児童生徒への適切な支援》</p> <ul style="list-style-type: none"> 通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある児童生徒 文部科学省の抽出調査による推計で、小・中学校の通常の学級に6.5%（小学校7.7%、中学校4.0%）、高等学校に2.2%在籍 教員・支援員等の人的配置の充実 多様なニーズに的確に応えていくため、教員や支援員等の人的配置の充実が必要 障害のある幼児児童生徒に対する校内支援体制の整備 「個別の指導計画」等の作成推進や、特別支援教育コーディネーターが十分に役割を果たせるような条件整備などが必要 教員の専門性の向上 多様な様態の障害に適切に対応するため、教員の特別支援教育に関する知識・技能の向上や、特別支援学校免許状保有率の向上が必要 <p>《インクルーシブ教育システムを踏まえた特別支援教育の在り方》</p> <ul style="list-style-type: none"> 就学指導の在り方の見直し（本人・保護者の意見を最大限尊重） 障害のある子どもの受け入れのための教員等の人的配置、施設等の物的整備 障害のある子どもと障害のない子どもの交流及び共同学習の充実
児童生徒数(H24)	～299	300～399	400～499	500～																														
学 校 数	1	1	5	1																														
区 分	スクールバス利用者乗車時間別人数(H24)																																	
	1時間以内	1時間超																																
肢体不自由養護学校	285 (61.2%)	181 (38.8%)																																
知的障害養護学校等	1,842 (81.8%)	410 (18.2%)																																
計	2,127 (78.3%)	591 (21.7%)																																
区 分	一般就労率	福祉就労率																																
愛知県立(H23)	37.4%	54.2%																																
全国平均(H22)	24.3%	62.8%																																